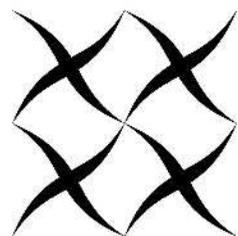


新型車両デザイン及び選考理由

富山の未来を象徴する 新沿線 | 4市の重なり合う魅力を『KASANE』に乗せて



KASANE

伝統 × 未来

海 × 山

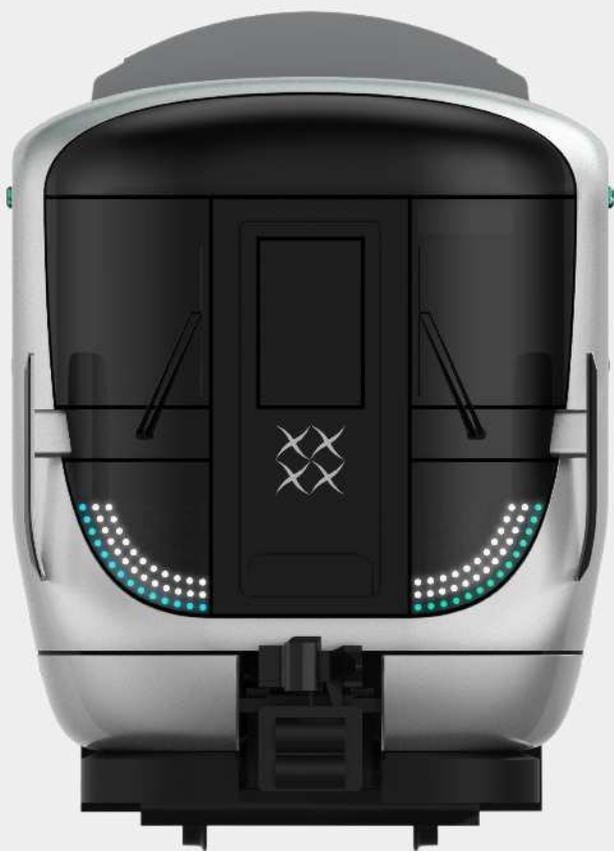
城端線・氷見線

東西 × 南北

日常 × 観光



※現時点のイメージであり今後変更となる場合があります。



※現時点のイメージであり今後変更となる場合があります。



※現時点のイメージであり今後変更となる場合があります。

新型車両デザインの選考理由

デザイナー

鈴木 啓太 氏 (PRODUCT DESIGN CENTER)

コンセプト

「KASANE」

選考理由

- コンセプト「KASANE」については、城端線・氷見線沿線の自然・風土・文化、再構築事業そのものの丁寧な調査や理解に基づいた綿密なストーリー検討により「伝統×未来、海×山、東西×南北、日常×観光」をデザイン。
沿線4市の歴史と特徴、今後の展開・連携、事業主体となるあいの風とやま鉄道といった、城端線・氷見線の未来を、高い次元でシンボリックに表現している。
- 車両外観は、沿線の風景や自然に馴染み、海と山を結ぶ路線を表現しつつ、あいの風とやま鉄道とのつながりも感じるデザインとなっている。
また、デザイン的にも斬新で、飽きのこない洗練されたデザインとなっている。
- 車両の顔となる前面デザインは、安全性と審美性を両立した立体感あるデザイン。
ライトにLEDを使用することにより、個性豊かな表現が可能となっている。
- 内装は、明るい室内空間に天井、床に木目を活用して温かみを演出、沿線の車窓から望める豊かな緑を基調とした座席。内と外との一体感を創出している。
機能性を備えたロングライフデザインを意識したデザインとなっている。また、今後は地場産業との協業による沿線の個性や多彩な富山の「技」をさりげなく演出する可能性も期待できる。
さらには、城端線・氷見線の美しい風景と利用者をつなぐ機能を果たす窓の一部に丸窓を取り入れるなど、利用者が沿線の魅力、路線への愛着、ワクワク感を感じられるデザイン。
- デザイナーの鈴木啓太氏は、新進気鋭のデザイナーとして、相模鉄道のデザインブランドアッププロジェクト（2019年グッドデザイン賞受賞）をはじめ、インダストリアルデザインだけでなく豊富な実績を有している。
また、城端線・氷見線の再構築事業の趣旨を十分理解し、作業チームの様々な意見にも真摯に対応いただいた。更なる城端線・氷見線の価値向上、ブランド構築に共に取り組むパートナーとしてふさわしく、また今後の活躍が期待できるデザイナーである。